



## 連合福島国際女性デーフォーラム



# 誰もが「自分らしく」輝ける、多様性のある男女平等参画社会を実現しよう！

連合福島 2021 春季闘争「連合福島国際女性デーフォーラム」は、3月6日（土）14時～、福島市・ラコパふくしまにて、各構成組織・地区連合から90名が集い開催された。冒頭、東日本大震災から10年を迎え、犠牲になられた方を追悼し全員で黙とうを捧げた。

主催者を代表し大越香代子代表幹事より「国際女性デーは歴史的に女性が差別から立ち上がった日、様々な法律改正により女性の格差は徐々に解消されつつあるが、一般社会の中では、不安定な働き方にある働く方の割合は、女性が高いと示されています。所得水準も低く、仕事や生活、将来への不安からストレスにつながるという部分も少なくありません。それだけ、経済的な面や働き方など、まだまだ女性

は、弱い立場におかれており、私たち自らの努力はもとより労働組合として性差別や冷遇・偏見などの改善・是正に向けた取り組みを継続していかなければなりません。」と参加者に呼びかけた。

続いて、連合福島の今野 泰会長は、コ

ロナ禍における女性の雇用・労働課題等を提起し、連合福島としての課題解決に向けた取り組み強化を表明。また『DOもーぱっじプロジェクト』を社会発信し、県民の命や健康を守るため懸命に頑張る医療従事者、エッセンシャルワーカーの方々を励まし、偏見や中傷などの無い社会へのメッセージとして、カンパにつなげるとともに皆さんそれぞれの『どうもありがとう』を届ける尊い取り組みにふれ連帯挨拶した。

基調講演は、「女性に住み良く！福島市新ステージ」と題して、木幡浩福島市長（連合福島推薦首長）においていただき、福島市政の女性活躍や女性視点に立った特徴的な先進事例を交え講演をいただいた。開始早々に機器の不具合アクシデントもありましたが、決してうろたえることなく自らの熱い思いを説いていただき、参加者の心を引き付け、さすがのご対応をいただきました。

講演後は、意見交換の一幕、電機連合・塩澤さん、大越代表幹事、コマツユニオンの渡辺さん、JP 労組の伊藤さんの4名の方から、市政の政策面、市長ご自身のプライベート上の工夫や趣味に関することなど多岐にわたる質問が出されるなど、ユーモアも交えた有意義な機会となりました。最後に、集会アピールを全員で採択し、フォーラムを終りました。



大越香代子代表幹事挨拶



連帯の挨拶をする今野会長



講演を頂いた木幡福島市長



発言する  
電機連合塩澤さん



発言するコマツ  
ユニオン渡辺さん